

令和5年度 経営改革プラン

団体名	神戸航空貨物ターミナル株式会社
-----	-----------------

設立年月日	平成4年4月28日	
団体の設立目的・沿革	神戸航空貨物ターミナル株式会社は、平成6年9月4日の関西国際空港の開港によって訪れた本格的な「空の時代」に対応して、西日本一円の航空貨物の物流拠点としての、荷さばき、通関、保管及び関西国際空港への集中輸送等の機能を備えた「神戸航空貨物ターミナル」を整備運営することにより、神戸港を海空陸の総合的な物流ネットワークの結節点として、さらに発展させることを目的として設立された。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	関空への集中輸送業務（国際貨物事業）	自主事業
	施設の賃貸借（国際貨物事業、国内貨物等事業）	自主事業
	施設（神戸航空貨物ターミナル）の管理	港湾局経営課、神戸港管理事務所
代表者	代表取締役社長 東野 展也	

役職員数 (令和4年7月時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		1	1
神戸市派遣職員	-	1	-	-		-	1
神戸市OB職員	2	1	-	-	2		5
その他	-	7	-	2	2	-	11
合計	2	9	-	2	4	1	18

財務状況（単位：百万円）	令和3年度	令和2年度	差引
経常損益	32	36	▲4
税引後当期純利益	22	24	▲2
販売費及び一般管理費	64	63	1
流動資産	565	456	109
流動負債	133	127	6
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	436	317	119

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	航空貨物需要に対する取り組みの一層強化
ミッション②	安定した経営基盤の確立と事業運営
ミッション③	中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり

■ 短期的なミッション（令和 5 年度のミッション）

ミッション①	貨物取扱量の拡大
ミッション②	新たな収益事業と将来の事業展開の検討
ミッション③	必要となる人材の検討・確保

■ 経営指標（令和 3 年度）

経営指標				令和 2 年度	令和 3 年度	前年度比増減	令和 2 年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員 1 名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	3.464	3.127	▲0.3ポイント	1.438
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	10.95%	11.19%	0.2ポイント	20.12%
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	4.60%	4.10%	▲0.5ポイント	1.44%
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	104.67%	84.29%	▲20.4ポイント	69.54%
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	358.51%	423.82%	65.3ポイント	156.65%
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	59.32%	61.69%	2.4ポイント	33.61%
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	5.28%	4.55%	▲0.7ポイント	3.44%
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	5.28%	4.55%	▲0.7ポイント	20.31%

■ ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
航空貨物需要に対する取り組みの一層強化	貨物取扱量2760トン/年			貨物取扱量3040トン/年			貨物取扱量3200トン/年					
安定した経営基盤の確立と事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな収益事業の検討 ・将来の事業展開の検討 			新規事業も含めた新たな事業の展開			<ul style="list-style-type: none"> ・安定した経営基盤の確立 ・国際貨物事業収支の黒字化 					
中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり	必要となる人材の検討・確保			<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材の積極的な活用 ・組織の活性化 			事業執行体制・組織の充実					
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
貨物取扱量の拡大	経営に参画しているフォワーダー・エアラインのノウハウを活用した積極的な営業活動の推進											
新たな収益事業と将来の事業展開の検討	具体的な事業の洗い出し、課題の整理・検討											
必要となる人材の検討・確保	必要となる人材の検討・条件の整理						人材確保に向けた関係機関との協議等					

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す数値目標も記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貨物取扱量については、早期にコロナ禍前（3,200トン/年）の水準に戻す。 ・ 貨物取扱量の確保と集中輸送の効率化に加え、国際貨物取扱事業者の誘致に努め、国際貨物事業収支の黒字化を目指す。 ・ 積極的な外部人材の活用により組織の活性化を図るとともに、安定した経営基盤確立のため、新たな収益事業の検討を行う。
	・ 貨物取扱量増加に向けた航空貨物ターミナルの機能強化（市と連携した防災機能の強化を含む）及び新規顧客の誘致	
	・ 集中輸送の効率化（片荷輸送の解消等）	
	・ 入居率向上に向けた事務所棟の新たな活用策の検討	
		・ 新たな収益事業や将来の事業展開、今後必要となる人材の確保に向けた業界・関係機関との協議

■ 市支援策の活用状況（令和4年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	